



みよし市民病院

病院だより

第9号

広報HP委員会

みよし市三好町八和田山15

TEL 0561-33-3300

FAX 0561-33-3308

広報誌刊行のごあいさつ

すっかり暖かくなり、もうすぐ夏の足音が聞こえてきそうな季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。病院だよりも今回で第9号を発行する運びとなりました。

よく御存知かと思いますが、昨年十一月十日に第2代みよし市長に小野田賢治氏が就任されました。みよし市長はみよし市民病院の開設者という立場になられます。そこで小野田新市長からみよし市民病院へのメッセージをいただきましたので掲載させていただきます。

このたび、MRI装置が最新式に変わることとなりました。入れ替え工事等で皆様に変化となりました。MRI装置が最新式に変わることとなりました。入れ替え工事等で皆様に変化となりました。迷惑をおかけしております。今号では新しくなるMRI装置について説明させていただきます。今年の四月一日付けで眼科の担当医が高橋明子医師から黒川幸延医師に変わりましたので御報告させていただきます。御本人から広報誌にコメントをいただきましたので併せて紹介させていただきます。

広報ホームページ委員会 一同

市長のごあいさつ



市長に就任させていただき、みよしの発展と市民一人一人の幸福への舵取り役を任せていただいたことに対して、感謝を申し上げます。同時に、その責任の大きさを感じているところでもあります。

特に、福祉・医療・子育て・介護・雇用など、将来に対する不安感から、まちをもっと成熟したまち、みよしを築いていきたいと考えています。まちづくりの基本は「行政主体の市民参加」ではなく、「市民主体の行政参加」であり、その市政の実現に向けた決意をしているところであります。

さて、本市の高齢化率は平成二十

六年四月一日現在で15.8%となり、今後もこの傾向が続き、平成三十年度は17.6%に達すると予想しています。

この高齢社会において、ますます重要となってくるのが、福祉・医療・介護支援の充実した「まち」づくりです。

市民病院は、一般病棟だけでなく療養病床を有する特色のある病院です。今後五年、十年、二十年後の高齢福祉においては重要な機能を担う施設だと考えています。

昨今の社会経済情勢により、中小病院には厳しい状況が続きますが、今後も市民病院の開設者として、市民の皆さまの健康を守り、安心して住むことのできるまちづくりをすすめてまいります。



MRI装置の導入について

MRI装置とは、X線撮影やCTのようにX線を使うことなく、代わりに強い磁石と電波を使い体内の状態画像を断面像として描写する装置です。放射線被曝がなく生体に害を与えずに画像が得られ、軟らかい組織も描出できる利点があり、急速に普及してきました。



六月下旬頃より、当院に新しいMRI装置（PHILIPS Ingenia 1.5T）が稼働する予定です。従来のMRI装置に比べ、撮影時間の短縮や完全デジタル撮像となるため、高精細画像検査、緊急時の高速撮影などが可能となっています。さらに、

MRIの開口部がワイドボア（70cm）となり今までより開放感があり、体格の大きな方、閉所恐怖症で検査できなかった方にも対応できるようになりました。



工事期間中MRI撮影はできなくなりご不便をおかけしますがどうぞよろしくお願いたします。



新任のごあいさつ

この度、前任の高橋先生の退職に伴い、本年四月よりみよし市民病院眼科に赴任させていただきます。これまで、黒川と申します。

これまでの勤務地では主に、白内障手術・硝子体手術等に携わってまいりました。一人赴任ということでも、どうしても診療の幅には制限が出てしまうと思いましたが、その中で、もし機会があれば、当院でも白内障手術だけでなく硝子体手術にも取り組んでいきたいと考えております。

また、当院のこれまでの伝統を受け継ぎ地域の皆さまに信頼されるよう幅広い疾患に対応できる眼科を目指し、努めてまいります。

今までの当院眼科の諸先生方と比べ、眼科医としての臨床経験も短く、力不足な面も多いかと思いますが、少しでも皆さまのお役に立てるよう頑張っていく所存です。

どうかご指導のほどよろしくお願ひ申しあげます。

